



# 個人投資家サーベイ

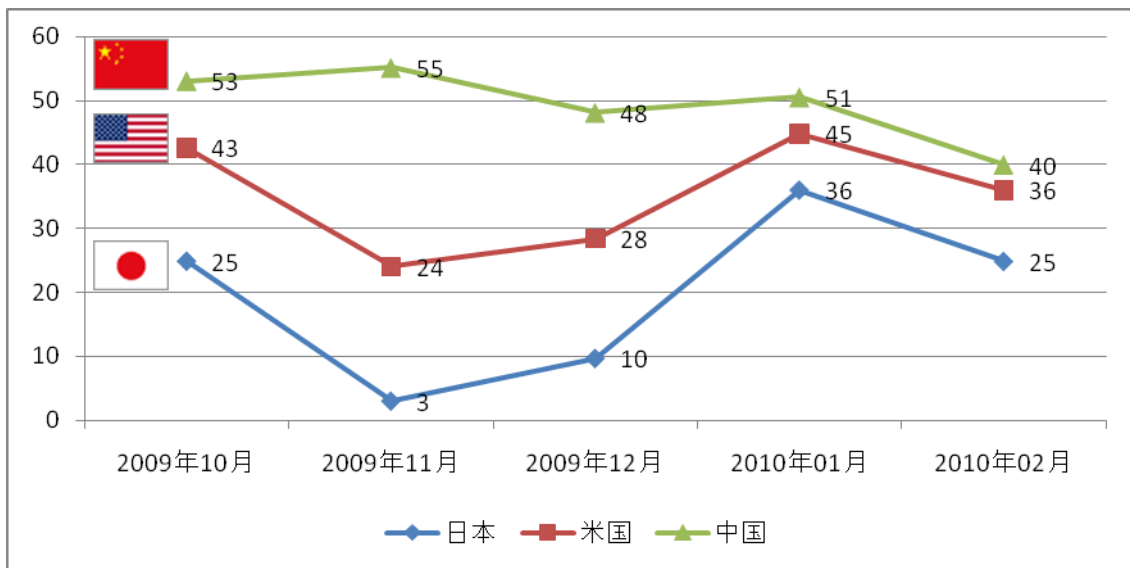
個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2010年2月19日～3月1日にアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

「Monex 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、月次で公表しております。

## ■ 調査結果

### 1 株式市場を取り巻く環境について

#### (1) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本、米国、中国の5ヶ月DI推移）



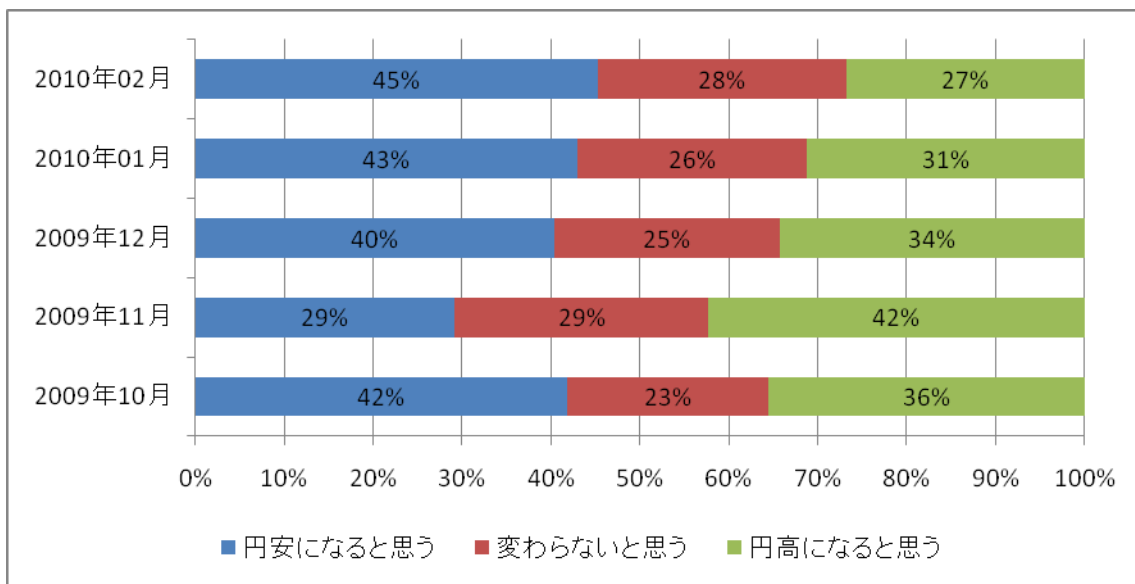
今後3ヶ月間の株価予想について、日本、米国、中国の3カ国とも、DI（※）は先月より低い数値となりました。（※DI：良いと回答した%から悪いと回答した%を引いたポイント）

2月26日更新 [不安材料を消化する株式市場（378KB）](#)

→ [村上経済レポート](#)



## (2) 今後3ヶ月程度のドル円相場については、「円安予想」の比率が若干高まる



「円安になる」と予想する人の比率が増えています。

2月25日更新 [円高リスクが浮上?~ドル円は再び80円台に入ったが...~](#)

→ [村上経済レポート](#)

## 2 日本の株式市場について

### (1) 日本市場の各業種に対する今後3ヶ月程度の見通し

2010年1月

1位	ハイテク
2位	医薬品
3位	商社
4位	自動車
5位	通信
6位	機械
7位	電力・ガス
8位	銀行
9位	非鉄
10位	鉄鋼
11位	海運
12位	小売
13位	不動産

2010年2月

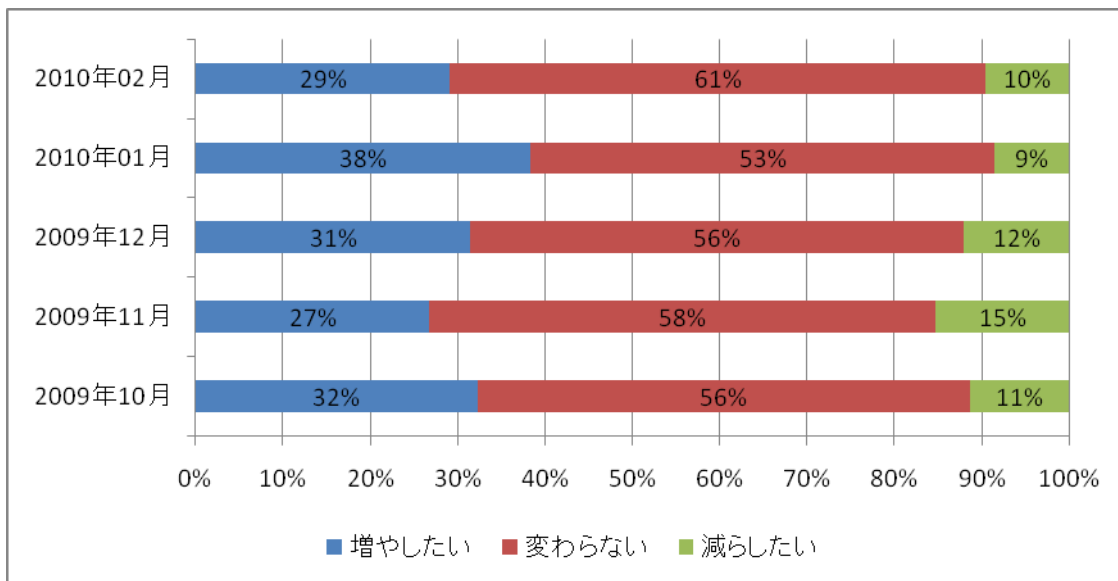
1位	医薬品
2位	ハイテク
3位	商社
4位	通信
5位	電力・ガス
6位	機械
7位	自動車
8位	鉄鋼
9位	非鉄
10位	海運
11位	銀行
12位	不動産
13位	小売

2010年1月に4位だった「自動車」は、2010年2月は7位に順位を落としました。



### 3 お客様の日本株取引について

#### (1) 今後3ヶ月の投資意欲について



株式の売買頻度を「増やしたい」と回答した人の比率は前月よりも減っています。

## ■ 総括

2月の個人投資家サーベイは、1月中旬以降世界の株式市場が大きく調整する中で調査されたこともあり、前回（1月）までの改善していた投資マインドが、総じて悪化する結果となりました。

今回の特徴は、日本、米国、中国いずれのDI（今後の3ヶ月先の株価予想）が約▼10ポイント同様に悪化したことです。2009年3月に株式相場の上昇相場が始まって、今回のような米国を含めた世界的な株価調整局面は2度目ですが、ギリシャ問題や米国の新金融規制導入などの予想外の波乱材料うけて、個人投資家の方々が株式投資全般に慎重に身構えていることが窺えます。

また、中国株のDIが今回40まで低下していることも注目されます。中国や香港では当局による金融引き締め懸念が高まりを背景に米国株よりも中国株の停滞が目立っており、これまでの中国株への期待が低下しているようです。一方、日本株のDIは単月では低下していますが、2009年11月、12月という日本株への悲観論が極まった時と比較すれば、DIは高く日本株への上昇期待はしっかりとしています。



ドル円相場については、「円安になると思う」というご意見が2ポイント増えています。1月中旬以降、株安が続く中で為替市場では若干円高が進みましたが、こうした中で円安になるという見通しが増えていることは注目されます。2009年11月に1ドル84円台まで円高が進んだ時と比較すると、個人投資家の皆様の円高期待は大分和らいでいるようです。為替市場の中では、円高が進むという声も依然大きいです。最近のFRB(米連邦準備制度理事会)が公定歩合の引き上げを決定するなど米国が少しずつ出口戦略を進める中で、日米の将来の金利動向などから冷静に個人投資家の方々が為替レートを予想されている、ということなのかもしれません。

今後3ヶ月先の日本株の業種別動向をみると、前回(1月)に4位だった「自動車」の順位が、今回調査では7位に順位が下がったことが目立ちます。トヨタのリコール問題が深刻化していることが、自動車セクターへの期待低下をもたらしたようです。

今回も、皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。深く御礼申し上げます。今回のサーベイが、個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

(マネックス証券 チーフ・エコノミスト 村上 尚己)

チーフ・エコノミスト

## 村上尚己の経済レポート





## ■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家  
 回答数： 1,076件  
 調査期間： 2010年2月19日～3月1日

### 【性別】

男性	女性
83.1%	16.9%

### 【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳超
0.6%	8.9%	31.3%	31.0%	13.8%	10.9%	3.5%

### 【金融資産】

500万未満	500万 ～1000万	1000万 ～2000万	2000万 ～5000万	5000万 ～1億	1億以上
38.3%	25.5%	15.6%	15.3%	4.0%	1.3%

### 【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.8%	9.6%	28.3%	32.3%	25.0%

### 【株式投資のご経験】

1年未満	2年～5年	5年～10年	10年以上
11.1%	37.3%	23.9%	27.8%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号  
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会